



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月28日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 勝彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理本部長（氏名） 那須 英幸 (TEL) 011-851-8188
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	9,314	2.2	91	△50.2	95	△49.0	52	△55.9
2025年3月期中間期	9,115	2.5	182	△15.0	188	△15.9	118	△18.6

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	25.01	—
2025年3月期中間期	56.65	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	14,552	5,432	37.3
2025年3月期	14,023	5,320	37.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,432百万円 2025年3月期 5,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	3.0	280	6.0	280	2.0	170	△20.2	81.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	2,103,948株	2025年3月期	2,103,948株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	11,397株	2025年3月期	11,349株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	2,092,559株	2025年3月期中間期	2,092,690株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 中間財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 中間貸借対照表	P. 4
(2) 中間損益計算書	P. 6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報)	P. 7
3. 補足情報	P. 7
販売実績	P. 7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における北海道の経済環境は、観光需要の回復や一部消費支出の持ち直しが見られたものの、物価高が継続するなかで消費者マインドが低迷し、全体としては緩やかな回復にとどまりました。当業界におきましては、物価上昇や実質賃金の停滞により、お客様の節約志向や低価格志向が一段と強まり価格競争が激化する市場環境のなか、原材料価格および人件費、物流費等の上昇が続き、収益の確保が困難な厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「安全・安心な製品を提供する食品衛生の徹底と安全・安心な職場づくり」を企業の基盤として日常業務の着実な遂行に努めてまいりました。また、主力製品の品質向上を継続するとともに、多様化するお客様のニーズに応える製品開発を推進しました。さらに、生産、販売、管理の各部門において業務の見直しや諸経費の抑制に注力し、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、主力の「絹艶」は、7月に発売20周年を迎え、「しっとり、耳までやわらか。」な製品特長の再訴求と店舗・枚数別の取組強化により好調に推移しました。また「イギリス食パン」は8月にリニューアルを実施し新聞広告やキャンペーンを活用して認知促進を図り、食パン部門は前年同期の売上を上回りました。

菓子パン部門は、「ふんわりこっぺW」シリーズが好調に推移した一方で、「北の国のベーカリー」シリーズは伸び悩みましたが8月のリニューアル以降は回復傾向にあります。また、「至福のクロワッサン」シリーズなどのペストリー類や「魅惑のシュガーマーガリン」、「絹艶ドーナツ」等の新製品の寄与もあり、前年同期の売上を上回りました。

和菓子部門は、「チーズ蒸しパン」などの蒸しパン類や黒千石シリーズなどの大福のほか串団子が伸長するとともに、北海道産原料を使用したロングライフ製品「福かまど」シリーズの中でも「べこ餅」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

洋菓子部門は、「北海道のあふれるシュークリーム・エクレア」や「ぶ厚いロールケーキ」シリーズなどのチルドデザートが堅調な売上を維持するとともに、コンビニエンスストア向けの製品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

調理パン・米飯部門は、絹艶サンドおよび常温のバーガー製品の品ぞろえ強化を継続し堅調に推移したほか、米などの原料価格高騰に対し、米飯類の製品開発を強化することで量販店向け製品の売上を確保し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、当中間会計期間の業績につきましては、売上高は9,314百万円(対前年同期比102.2%)、営業利益は91百万円(対前年同期比49.8%)、経常利益は95百万円(対前年同期比51.0%)、中間純利益は52百万円(対前年同期比44.1%)となりました。売上拡大を含む各種対策を実施しましたが、原材料価格や人件費、物流費等のコスト上昇を吸収することができず、減益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末における資産合計は14,552百万円で前事業年度末に対し528百万円増加しました。流動資産は4,740百万円で主に現金及び預金が498百万円増加し、受取手形及び売掛金が65百万円減少した結果、前事業年度末に対し456百万円増加しました。固定資産は9,812百万円で主に有形固定資産が70百万円、繰延税金資産が35百万円減少し、無形固定資産が46百万円、投資有価証券が132百万円増加した結果、前事業年度末に対し72百万円増加しました。負債合計は9,119百万円で主に支払手形及び買掛金が21百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が554百万円増加し、流動負債のその他が168百万円減少した結果、前事業年度末に対し417百万円増加しました。純資産合計は5,432百万円で主に利益剰余金が20百万円、その他有価証券評価差額金が90百万円増加した結果、前事業年度末に対し111百万円増加しました。

この結果、当中間会計期間末における自己資本比率は37.3%、1株当たりの純資産は2,595円98銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、北海道経済は観光需要の回復や所得環境の改善を背景に緩やかに回復していくことが期待されます。一方、当業界におきましては、お客様の根強い節約志向が続く市場環境のもと、最低賃金の過去最大の引上げに伴う人件費増加に加え、原材料価格および物流費の上昇も継続すると見込まれ、収益への影響が懸念されます。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、主力製品の品質向上を継続し、多様化するお客様の潜在需要やライフスタイルに合ったニーズを的確に捉えるための製品開発体制を定着させ、新しい価値と新しい需要の創造に取り組み、売上向上に努めてまいります。また、「食品安全衛生管理体制の強化と労働安全衛生管理体制の強化」を企業の基盤として、生産・販売が一体となり各部門の小委員会活動によるなぜなぜ改善を推進し、製品施策・営業戦略を着実かつ迅速に実践・実行・実証するとともに、あらゆるロスの削減を含む内部管理の充実に努め、経営課題に着実に対処し、業績向上をめざしてまいります。

なお、2026年3月期通期に関する業績予想につきましては、2025年5月13日に公表した内容から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626,316	2,125,078
受取手形及び売掛金	2,251,631	2,185,888
商品及び製品	53,446	46,841
仕掛品	28,981	30,108
原材料及び貯蔵品	264,878	265,989
その他	58,714	86,225
貸倒引当金	△64	△69
流動資産合計	4,283,906	4,740,062
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,303,403	2,277,212
機械及び装置（純額）	1,546,329	1,479,932
土地	4,662,405	4,662,405
その他（純額）	309,050	330,650
有形固定資産合計	8,821,188	8,750,200
無形固定資産		
その他	52,569	98,993
無形固定資産合計	52,569	98,993
投資その他の資産		
投資有価証券	695,392	828,198
投資不動産（純額）	39,500	39,500
繰延税金資産	114,967	79,533
その他	19,352	19,030
貸倒引当金	△3,528	△3,431
投資その他の資産合計	865,683	962,831
固定資産合計	9,739,442	9,812,024
資産合計	14,023,348	14,552,087

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,942,674	1,964,413
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	654,000	674,200
未払法人税等	87,330	66,525
賞与引当金	175,059	177,446
その他	1,347,451	1,179,045
流動負債合計	4,756,516	4,611,630
固定負債		
長期借入金	1,170,500	1,704,300
再評価に係る繰延税金負債	1,225,815	1,225,815
退職給付引当金	1,449,016	1,472,603
役員退職慰労引当金	91,186	97,190
その他	9,830	8,330
固定負債合計	3,946,347	4,508,238
負債合計	8,702,864	9,119,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	1,255,737	1,276,677
自己株式	△16,414	△16,519
株主資本合計	2,291,297	2,312,131
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	370,082	460,982
土地再評価差額金	2,659,104	2,659,104
評価・換算差額等合計	3,029,187	3,120,086
純資産合計	5,320,484	5,432,218
負債純資産合計	14,023,348	14,552,087

(2) 中間損益計算書

	(単位：千円)	
	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,115,527	9,314,076
売上原価	6,567,984	6,784,682
売上総利益	2,547,543	2,529,393
販売費及び一般管理費		
販売費	1,926,788	1,990,155
一般管理費	437,804	448,177
販売費及び一般管理費合計	2,364,592	2,438,332
営業利益	182,950	91,060
営業外収益		
受取利息	89	1,176
受取配当金	10,628	14,496
受取賃貸料	4,847	4,865
受取保険金	134	-
その他	2,219	2,989
営業外収益合計	17,920	23,528
営業外費用		
支払利息	12,657	18,606
その他	0	0
営業外費用合計	12,657	18,606
経常利益	188,212	95,983
特別利益		
固定資産売却益	563	177
特別利益合計	563	177
特別損失		
固定資産売却損	-	16
固定資産除却損	14,215	6,815
特別損失合計	14,215	6,831
税引前中間純利益	174,560	89,328
法人税等	56,000	37,000
中間純利益	118,560	52,328

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売実績

販売実績を事業部門等別に示すと、次のとおりであります。

事業部門等の名称	前中間会計期間(千円)	当中間会計期間(千円)	前年同期比(%)
食パン	1,443,022	1,488,409	103.15
菓子パン	3,219,112	3,230,248	100.35
和菓子	1,683,018	1,705,518	101.34
洋菓子	490,000	518,545	105.83
調理パン・米飯類	2,092,856	2,191,805	104.73
その他(仕入商品)	187,515	179,548	95.75
合計	9,115,527	9,314,076	102.18